

AMUSEMENT SQUARE stage

プラスワンシアター・in FANS

1 + 1 = ?

〈文／創造集団パノラマ屋お頭・安達良春〉

初めて独り芝居を観たのはイッ
セー尾形のビデオだった。面白か
った。こんな世界もあったのか、
と驚いた。もともと、ものを作る
ことが好きだったこともあり、思
わず自分でも脚本を書いてみた。
それが始まりだった。気がついた
ら7年が過ぎていた。

いろいろな事があった。いろい
ろな事をやった。たくさんの人
劇団に接し、一緒に舞台に立った。
その中でひとつ賢くなったのは、
自分には人を引っ張っていく力が

ないと感じたことだ。生まれてか
ら20年以上かけてやっとそのこと
に気づいた自分にとって、独り芝
居をつくるという作業は、凄く居
心地のいいものだった。
そしてまた月日が過ぎ、今度は
自分の無力さに気づいた。
「人を引っ張っていく力がない」
「才能がない」

これはしんどい。かなり辛い。
自分が作ってきたものにプライド
はある。面白いものを作ってきた
と思っっている。でもそれは「力」



プラスワンシアター#1「我が家」 出演／安達良春、本村拓雄

とイコールではな
い。それでも私は
芝居をやめようと
は思わなかった。
下手の横好きか、
未完の大家か、ど
ちらかは解らない
が、とにかく今も
続いている。うー
ん、道楽と言うべ
きか、性分と言っ
べきか…。
敬愛する船木誠
勝という格闘家が
引退した。知って
いる方も多いと思
うが、ヒクソン・
グレイシーと闘
い、敗れての事だ

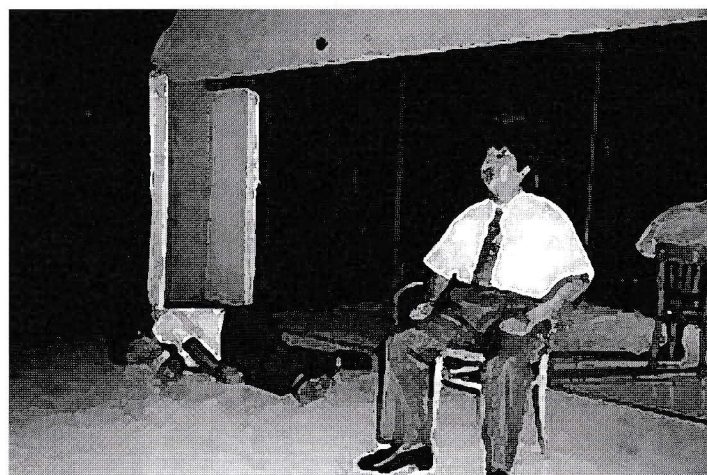
った。引退を発表した席で、船木
選手は「格闘技に答えはありませ
んでした。永遠に闘い続けること
のみです」と語った。格闘技に答
えを見つけようとした者がたどり
着いた答え。

それは不毛でさえあった。
私も最後には「演劇に答えはあ
りませんでした。永遠に作り続け
ることのみです」と言うんだろうな
あ。十年前「演劇とはなにか」とい
う舞台をつくった人たちは今どん
なことを考えているのだろうか。

そして、今。

一人芝居を作っていくことに
限界を感じてしまった私は、人を
まきこむことにした。たくさん
の人とやる自信はないのでとりあ
えずあと一人。このへんの判断がい
かにも自分らしくて笑ってしまう
のだが、とにかくこうしてプラス
ワンシアターは始まった。私にと
ってプラス1になるだけでなく、
相手にも観客にもプラス1になれ
ばと思っ取り組んでいる。そして、
来場して下さった方の感情に小さ
くても波紋をおこせますように…。
集団に拘ることなく（実は集団
を維持していく力がないだけなの
だが…）、作品を見つめ、相手を
見つめて舞台をつくっていくのは
私にとってひとつの理想でもあ
る。これまで協力者にも恵まれ、
公演を重ね今年で4回目になる。
十人十色の共演者と毎回相談しな
がら舞台をつくっていくのは楽し

い。新鮮でさ
えある。
そう考える
と、やっぱり
道楽なんだろ
うなあ。うん、
真剣な道楽。
毎月第三金
曜日のFANS
はプラスワ
ンシアターで
ご来場をお待
ちしております。
す。真剣な道
楽と、取り合
わせたの妙をお
楽しみ下さ
い。



プラスワンシアター#3「面接」 出演／安達良春、加藤健太郎

9月のFriday Amusement Negative Shop

■1日 (第343回)

未定

■8日 (第344回)

未定

■15日 (第345回)

安達良春

「プラスワンシアター」

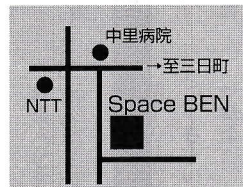
■22日 (第346回)

未定

■29日 (第347回)

未定

※全て午後7時30分～、料金500円
※チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車で
のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

☎ スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎&FAX 43-9876

FANSの番組につきましては、デー
リー東北の「あすのメモ」「きょうの
メモ」欄でご確認下さい。

…FANからのお知らせ…

ホームページに掲載板を
設けてありますので、ど
んどん書き込みを！

FANSでは、役者、スタッフ、
その他何でも、何かを表現して
みたい人を募集しています。ご
遠慮なく、ご連絡下さい。